

ここが聞きたい

一般質問



9月定例会では、10人の議員が個人質問を行いました。

施設園芸に対する今後の方策は

園芸施設情報バンクを活用し施設園芸を再構築

一問一答方式



岡本 禎稔 議員
自民クラブ

遊休温室の今後の対策について

問 園芸施設情報バンク事業（※）の利用状況は。

答 3月の開始から、登録2件、うち1件が売買成立。

問 バンク事業は進んでいないと感じる。推進のための具体策は。

答 ①制度の周知
②貸借の適正価格の決定と提示
③施設の修繕・施設の最終処分のルール化
愛知県田原農業改良普及課、JA愛知みなみと連携し、よりよい推進方法を検討していきたい。

問 遊休温室対策として、目に見える形で早急に実現できる事業は。

答 バンク事業の登録情報は地図や写真を使い、自宅でも簡単に閲覧できるシステム構築を考えている。

問 施設園芸農家は、重油高騰や花きの低価格等で経営が圧迫されている。施設園芸に対する今後の方策は。

答 国の進める大規模施設園芸ではなく、現在の園芸施設も活用できる園芸施設情報バンクを活用し、地の利を生かした施設園芸を再構築する。



施設園芸の再構築にバンク事業の活用を

（※）園芸施設情報バンク事業…規模縮小・離農する農業者の温室を、規模拡大を希望する者にあっせんするシステム。情報は、市とJA愛知みなみの窓口で閲覧可能。